

平成23年度第3回市民企画事業補助金審査委員会 会議録

- 1 日 時 平成24年2月22日(水) 14:00~17:00
- 2 場 所 クリエイトホール 第5学習室
- 3 出席者 委 員：和田委員長、渡辺副委員長、岩佐委員、甘利委員、高橋委員(代理出席)、江頭委員
事務局：峯尾市民活動推進部長、松日楽協働推進課長、島村主査、山口主事
- 4 会議当日資料配布
 - (1) 資料1 平成24年度市民企画事業補助金 審査結果 一覧表(得点順・受付番号順)
 - (2) 資料2 平成24年度市民企画事業補助金 審査結果 事業別個表
 - (3) 資料3 平成24年度補助対象事業採択について(案)
- 5 議事進行
 - (1) 開会(島村主査)
 - (2) 事務局挨拶(峯尾市民活動推進部長)
 - (3) 配布資料の確認(山口主事)
 - (4) 平成24年度申込事業の最終選考審査(審査委員会)

この後、活動支援部門、次に事業実施部門について獲得点数の高い順から審査を行った。

6 個別審査内容

(1) 活動支援部門

A-②-1 わくわくキッズ料理教室

委員 長：補助金交付の可否について全員が可とした事から、特に問題無しとし、採択する。

A-②-3 DV被害者や女性であるが故に問題を抱える女性の支援

委員 長：補助金交付の可否について全員が可とした事から、特に問題無しとし、採択する。

A-新-1 のらネコの新しい飼主探し及び捕獲と不妊・去勢手術の実施、協力

委員 長：補助金交付の可否について全員が可とした事から、特に問題無しとし、採択する。(※委員会終了後、平成24年3月14日付で団体より取り下げの申請

あり)

A-新-4 NPプログラムで自分らしい子育てを探そう

委員 長：補助金交付の可否について全員が可とした事から、特に問題無しとし、採択する。

A-新-2 宇津木の森 再生プロジェクト2012

委員 長：補助金交付の可否について全員が可とした事から、特に問題無しとし、採択する。

A-新-6 子連れ参加OK！「子どもとの絆を深め関係を崩さずに子供の自立が育める関わり方」～家族みんながHAPPYになれる育児法～ 講演会

委員 長：補助金交付の可否について全員が可とした事から、特に問題無しとし、採択する。

A-②-2 ぶれいみゅーじっくな活動をわかりやすく広報するために

委員 長：補助金交付の可否について全員が可とした事から、特に問題無しとし、採択する。

A-新-8 シニアを元気にするフェスティバル

委員 長：補助金交付の可否について全員が可とした事から、特に問題無しとし、採択する。

A-②-4 子育てママのための学び場〈一歩踏み出して未来の私につながろう〉

C 委員：平成 23 年度の活動内容を見る限り、参加者も限定的であり、今後の活動もあまり期待できないような印象を受けた。

D 委員：講座が総花的な印象も受けた所。

委員 長：こういった意見もあるが、補助金交付の可否について過半数が可としており、獲得点数も高いため、特に異論が無ければ採択する。

A-新-3 みなみ野シティふるさと展

C 委員：特定地域を対象としている印象を受けるが、公益性としてはどうなのだろうか。

D 委員：広くPRを行うよう、コメントを付してはどうか。

E 委員：会員数も少ないようなので、広くPRを行って、活動を広げて行ってほしい。

委員 長：では、地域コミュニティの醸成という大元の目的にも大いに期待する所ですが、この事業が多くの方の目に留まるよう、また、会の活動に広がりを持たせるよう、みなみ野地区に留まらない、より広範な地域への PR を要望し、

採択します。

A-新-5 八王子のゆるキャラを作ろう会

D 委員：収支計画にある「商品開発費」とは。

事務局：担当部との面接議事録に記載がある通り、ぬいぐるみ、シール、マグカップ等の開発を考えおり、用途としては宣伝・PRのためのものとの事。

D 委員：キャラクターを通しての地域活性化が目的との事だが、商品開発費については広報的な見地から見て疑問が拭えない。今回はPRを主眼とした部門である活動支援部門への応募であるので、商品開発費について、より本来的な意味での広報活動に係る費用に置き換えて頂きたい。

E 委員：八王子市が助成するという事は、将来的に市と協働の可能性があるという事である。他にもゆるキャラ等の案を持っている団体があると思うが、同様の応募が今後殺到するのではという懸念が無いのか。また、市として補助金を支出した場合、市の公認キャラとなってしまう懸念がないのか。

事務局：応募が殺到するのでは、という懸念については、今後応募があったとしてもそれぞれの事業について事業計画や必要性等を勘案し採択を決めていきたい。市の公認キャラとなってしまうのでは、という懸念については、やはり市の公認とするには別の意思決定が必要であり、今回の補助金とは切り分けて考えるべき事柄であると捉えている。そのため、仮に今回本補助金が交付されたとしても、市の公認キャラとなる訳ではない旨は、担当部面接の際に団体に確認もとっており、承知してもらっている。

委員長：では特段異論が無ければ、商品開発費について、この費目をより本来的な意味での広報活動に係る費用に置き換える事を条件に採択します。また、本補助金の交付は市の公認キャラクターと位置付けるものではなく、あくまで取り組みに対しての側面支援である旨を理解の上活動を進めて頂きたい旨、コメントとして付します。

A-新-7 市民生活応援講座～知って賢くこれからを生きる～

E 委員：講師は、有資格者である団体の会員の方が務められるようだが、本職の営業ベースで実施できる事業なのでは。

C 委員：行政をはじめ、こういった講座は既に様々存在しているのでは。事業の内容に新規性や独自性を感じない。

A 委員：10回実施して周知がなかなかできないものが今後伸びるのだろうか。

委員長：公益性は認められる所ですが、事業の内容に新規性や独自性が認められない為、不採択とします。

A-新-9 みんなが論語で『健全市民』

E 委員：論語という一つのテキストをもとに「健全市民」を育成するというのは、思

想的啓蒙ではないか。公益性という観点から見てどうなのか。

D 委員：公益性に欠けると考えられる。

委員 長：公益的な活動としての広がりについて疑問があるため、不採択とします。

活動支援部門 審査結果

採択：10事業 不採択：2事業 取り下げ：1事業

【採択】 A-新-2、A-新-3、A-新-4、A-新-5、A-新-6、A-新-8、A-②-1、A-②-2、
A-②-3、A-②-4

(2) B 事業実施部門

B-③-3 八王子現代家具工芸学校

委員 長：補助金交付の可否について全員が可とした事から、特に問題無しとし、採択する。

B-②-3 生涯学習の集いイン南大沢

委員 長：補助金交付の可否について全員が可とした事から、特に問題無しとし、採択する。

B-新-2 親子で楽しむ陶芸教室

D 委員：この事業については、今年度A部門で採択するにあたり、新規参加者を多く募るよう関連団体との連携を模索する旨、要望事項を付したが結果はどうだったのか。

事務局：担当部との面接議事録にも記載のある通り、概ね 20 家族の参加のうち、9 家族が既に会員の方の参加という実績のようである。

D 委員：出来るだけ多くの方に参加して頂く事が大事であると考え。引き続き、新規の方に多く参加して頂けるよう、関連団体との連携を模索していただきたい。

委員 長：では特段異論が無ければ、引き続き新規の方に多く参加して頂けるよう、関連団体との連携を模索するよう要望として付します。

B-新-4 楽しい介護予防の音楽セミナー

D 委員：この事業についても、今年度A部門で採択するにあたり、新規参加者を多く募るよう広報活動などを工夫する旨要望事項を付したが結果はどうだったのか。

事務局：担当部との面接議事録にも記載のある通り、会員・非会員の参加の区別を累計しておらず、新規参加者の割合は不明との事である。

D 委員：この点について区別を取っていないのでは、補助金事業の効果を測る事が難

しい。要望を聞き入れていなかった事については、これを重く受け止め、本年度は会員・非会員の区別を集計する事を条件として付した上での採択としたい。また、引き続き新規参加者を多く得られるよう広報活動などを工夫するよう要望する。

委員 長：では特段異論が無ければ、参加者のうち、会員・非会員について集計を行う事を条件として付し、また、引き続き新規参加者を多く得られるよう広報活動などを工夫するよう要望します。

B-新-5 里親子と地域支援者との宿泊体験事業

E 委員：とても大切な活動であると印象を持った。

D 委員：A委員は補助金交付の必要性に不可をつけられているが、どうか。

A 委員：皆さんの意思を尊重する。

委員 長：補助金交付の可否について過半数が可としており、獲得点数も高いため、特に異論が無ければ採択する。

B-②-2 被爆体験をDVDに収録し後世に

F 委員：広島平和記念資料館のホームページなどでも証言ビデオを閲覧する事が出来るので、あえて八王子で実施する事に疑問があるが。

E 委員：大切な分野を手掛けられていると感じる。今やっておかなければ、間に合わなくなってしまうかもしれない。

委員 長：補助金交付の可否について過半数が可としており、獲得点数も高いため、特段異論が無ければ採択する。

B-②-1 八王子陵南公園さくら祭り

委員 長：本事業については、補助金交付の可否について過半数が可としており、獲得点数も高いが、B新1「第5回八王子さくら祭り」と併せて議論する必要があると考えるため、一旦保留とし、後ほど議論を行う。

B-③-2 大人の女性のゼミ

委員 長：補助金交付の可否について全員が可とした事から、特に問題無しとし、採択する。

B-新-6 マイノート推進事業

委員 長：補助金交付の可否について全員が可とした事から、特に問題無しとし、採択する。

B-③-1 いきいきわくわく計算大会

D 委員：今回が補助金交付の最後の年となるので、自立に向けた工夫をこらして行っ

て頂きたい。

委員 長：補助金交付の可否について過半数が可としており、獲得点数も高いため、特に異論が無ければ採択するが、自立に向けた工夫をこらして頂く事を期待します。

B-新-1 第5回八王子さくら祭り

C 委員：本年度応募のあった別事業「八王子陵南公園さくら祭り」も同時期に同じ浅川流域で開催するわけだが、協力しあって実施する事はできないのだろうか。

D 委員：それは事業効果を高めるためには必須であり、双方の事業に対して、委員会からの意見として強く要望したい。一方、事務局と共に収支計画を精査したが、参考資料に付された前年度決算書に記されている協賛金の額と、今回の収支計画書上で見込まれている協賛金の金額に、倍以上の差がある事が気になった。協賛金についてはせめて今回見込みと前年度決算書との平均値位は得る努力を期待し、要望額から減額しての補助としたい。

委員 長：では他に異論が無ければ、補助金交付の可否について過半数が可としており、獲得点数も高いため、特に異論が無ければ採択するが、協賛金を得るための努力を期待し、要望額から減額しての補助とします。また、事業効果をより高めるため、今後の「さくら祭り」の実施において、「八王子陵南公園さくら祭り」及びその実施団体との連携・協力を強く要望します。

B-②-1 八王子陵南公園さくら祭り

D 委員：現在の収支計画では 300,000 円の企業協賛を見込んでいるが、B-新-1「第5回八王子さくら祭り」に比べて企業協賛の金額が大分低いように感じる。今後自立に向け、また、事業に対しての理解者を増やすという視点からも更に企業協賛を集める努力を期待したい。

C 委員：事業効果を高めるためにも、「八王子さくら祭り」との連携を強く要望したい。

委員 長：では他に異論が無ければ、補助金交付の可否について過半数が可としており、獲得点数も高いため、特に異論が無ければ採択するが、類似事業の実績・計画を参考とした中において、自立しての事業実施や賛同者の増加のためにも、協賛金を得るための努力を期待し、要望額から減額しての補助とします。また、事業効果をより高めるため、今後の「八王子陵南公園さくら祭り」の実施において、「八王子さくら祭り」及びその実施団体との連携・協力を強く要望します。

B-新-3 第104回八王子親と子の良い映画をみる会上映会

D 委員：昨年度、同様の応募で不採択となった経緯があるが、今回の応募にあたり事業内容等に何か変更はあったのか。

事務局：担当部との面接議事録にも記載のある通り、昨年度不採択となった際のコメントは認識しているものの、これ以上改善するのは難しいとの判断のようである。そのため、特段の変更は無いとの事。

E 委員：昨年度不採択となった経緯もあるが、個人的には長い歴史をお持ちの事について評価している。過半数の委員が補助金の交付を可と評価している事もあるため、より多くの子どもに見て貰うための工夫を行うなど、事業の工夫や新たな試みを追加する事を条件に採択してはどうか。例えば、PTAや保育園等の既存組織との連携を行った上で実施し、また、年一回きりの上映ではなく、小規模でも構わないので上映の回数を増やすなど。

D 委員：そういった条件が付されるのであれば異論は無い。

委員長：では他に異論が無ければ、より多くの子どもに見てもらうための工夫として、PTAや保育園等の既存組織との連携を行った上で実施し、また、年一回きりの上映ではなく、小規模で構わないので上映の回数を増やして実施する事を条件に採択します。

B-新-8 恩方 森のようちえん

F 委員：対象者は年間を通して 20 名との事だが、公益性に結びつくのだろうか。また、収入のうち 9 割を本補助金と子どもゆめ基金に頼っており、事業の継続性から見ても難しい。

E 委員：私も同様な印象を受けた。活動の主旨は非常に良いと思うものの、今年度 A 部門で事業実施していた時と比べて事業費が大幅に膨らんでいる一方で収入の殆どを補助金で賄う形になっており、今後継続を考えれば、この収支計画では厳しいと考える。もう一度収支計画を精査して来年の応募をお願いした方が良いのではないだろうか。

D 委員：参加者が 20 名なのに対して、毎回指導者を 10 名つけて 1 名あたり 10,000 円謝礼を支払うというのは疑問である。継続性という観点から考えても足かせになるのでは。A 部門で補助金事業を実施した際にはどうだったのか。

事務局：既に実績報告も終えた平成 22 年度事業においては、親子を対象とする自然体験活動と、概ね同様の事業を実施した。その際は 1 回のイベントにつき指導者は数名で、謝礼単価は 5,000 円であった。

E 委員：子どものみではなく親子が対象であるため、大人も含めて 20 名の参加者に対して、の話であるので、指導者が 10 名という事についてはやはり疑問である。

B 委員：一方で、事業の主旨自体は賛同できるものであるため、その点についてはコメントで触れたい。

委員長：では、活動の主旨は理解できますが、今後の事業継続を考えると収支計画の計画性に疑問があるため、不採択とします。より計画を精査した上での再チャレンジを期待します。

事業実施部門 審査結果

採択：12事業 不採択：1事業 取り下げ：1事業

【採択】 B-新-1、B-新-2、B-新-3、B-新-4、B-新-5、B-新-6、B-②-1、B-②-2、
B-②-3、B-③-1、B-③-2、B-③-3